

2014年度活動報告 海外展開WG

2015年7月

海外展開WGリーダー 磯 尚樹

【海外展開WG】

■ 計画

- ① モデルプロジェクトにおける具体的プラン検討（実証の要否、対象国、実施体制、スケジュール、展開モデルなど）、利用環境の支援要請、現地との連携に関する支援要請等の国への提言
- ② MGA（マルチGNSSアジア）の枠組みを活用したアジア太平洋地域での利用実証の検討・推進
- ③ アジア・太平洋地域への展開における欧州との連携検討

■ 活動状況

- ① 全体WG活動（全体会合8回開催）
 - アジア太平洋地域での利用実証の検討推進/欧州との連携等をテーマに、有識者からの情報提供・共有/ディスカッション。
 - NEDO、JICA、QSS、日欧産業協力センターの取り組み状況、参加各社の実証報告等の話題提供。
- ② サブワーキング活動（ITS、防災・・・SWG）
 - 報告書がほぼまとまったSWGもある。具体化に向けて、関係機関との連携、実証プロジェクトの推進など、今後の展開が課題。
 - 海外における準天頂衛星システムのサービス仕様は、今後具体化していくことから、その検討状況と連携した取り組みが必要。

2015年度活動計画 海外展開WG

2015年7月

海外展開WGリーダー 磯 尚樹

2015年度活動計画

1. 活動方針

QZSSの強みを活かしALL JAPANで政府と一体となり事業展開を図る

2. 活動計画

①WG全体計画

- i. 海外展開に係る国との連携/国への提言
含むQZSS利用拡大策、QZSS7機体制における海外サービスなど
- ii. マルチGNSSアジア（MGA）の枠組みを活用、アジア太平洋地域の国々との連携、利用実証実験の推進
- iii. GSA (European GNSS Agency) と連携し、アジア太平洋地域におけるGNSS利用拡大を推進
- iv. アジア太平洋地域において利用可能な高精度測位サービス/地図などの利用環境検討

②サブワーキング活動

③その他：ワークショップでの提言等

海外展開WGにおけるサブワーキング活動

- ・準天頂衛星サービスへ要求を上げる／サブプロジェクトで新たな事業モデルを検討・実証実験として提案を検討。
- ・アプリケーション層として、各利用分野ごとにサブワーキングを展開する。
- ・利用基盤として、海外の利用環境等の技術的、利用面での課題について、横串でサブワーキングを展開

